

屋根替え工事でいぶし銀の瓦が甦る

島田市の普門院様（曹洞宗）は昭和三十年代に新築した本堂の屋根替え工事を行いました。一昨年に屋根替え工事の見積依頼を受け、同年に工事請負契約を結び昨年の秋より工事に入っております。

古い瓦をすべて降ろし、腐ったり傷んだりした木部の取替えや補修を施した工事は順調に進み、四月の中旬に予定通り完了することができました。工事中は足場がかなりネットも張られているため、全体をみることはできませんでしたが、四月の初旬に足場とネットが取り払われるといぶし銀の瓦が現れ、新築時に戻ったような姿になり、ご住職や檀家の皆様に大変喜んでいただきました。

そして二〇日には落慶法要が営まれ、檀家の皆様にお披露目をいたしました。新しくなった鬼瓦も厄除けとして、これからは普門院様と檀家の皆様を守つてくれることと思えます。



地震に備えて耐震補強工事を

昨年の一月から始まった聖眼寺様（豊橋市・真宗高田派）の本堂耐震・改修・屋根替え工事も終了いたしました。現在の本堂は戦後に再建されましたが、鉄骨の方杖を取り付けて傾きを応急的に補強していました。そして今回これから想定される南海トラフ地震に備えて、限界耐力計算法による設計を行い制震補強工事を行うことに決定しました。

工事は一度骨組の状態にしてから、全体をジャッキで揚げ、腐った土台を交換し、新たに土間を作り基礎の補強工事を行い、制震ダンパーを設置した後に復旧工事をいたしました。また同時進行で屋根替え工事も行い再建当時の姿がよみがえりました。

戦後に建築した時に使用した屋根瓦は品質にバラツキが多く、現在屋根替えの時期がきていられると思われまます。新しく葺き替えた瓦は、安定した品質管理のもと生産されているため百年以上屋根替えの必要がありません。

普門院様と聖眼寺様の百年後の屋根替えも弊社でできるよう今後とも頑張つてまいります。



宗心寺様で上棟式

三月四日の日曜日、御前崎市の宗心寺様(曹洞宗)では、書院・庫裡の新築工事の上棟式がおこなわれました。三月にしては暖かく、風もなくお天気に恵まれて上棟式を行うことができました。

午後三時から始まった上棟式はご住職の読経から始まり、総代さん、建設委員の皆さん大工と順に焼香をし、つづいて大工によるお清めと神事を行いました。完成は一二月を予定しており、安全第一でこれから工事を進めてまいります。



終了後にご住職と記念写真を

おごそかに地鎮式



末寺のご住職も参加していただきました

浜松市新橋町の大通院様(臨濟宗方広寺派)で本堂新築の地鎮式を三月二十八日に執り行われました。大通院様は四二ヶ寺の末寺を持っています。本堂が老朽化したため末寺が費用を負担しています。このような大通院様の本堂を施工させていただくことになり光栄です。

地鎮式の法要は参列された住職の方々の読経が響きわたり、引き続き起工式を行いました。五月一九日(土曜日)には上棟式を予定しています。

リフォームで永代供養棚を

掛川市の某寺院様では本堂にあった収納部分を、永代供養棚にするためのリフォーム工事を行いました。檀家さんより永代供養の希望が多くなってきたための対応です。最近是他のご寺院でも永代供養塔や永代供養堂などの話が出ております。様々な方たちでご希望に沿ったものをご提案させていただきますので、ご興味を持たれた方は是非弊社へ相談を。



←襖を閉めると部屋としての違和感がなく使用できるようにしました



重厚感があり、お参りされる方にもご満足いただけるような仕上がりです。

「最近の墓事情」

日本テンブルヴァン(株)井上拓郎

「宗派問わずの境内墓地」

最近「お墓（墓石）が売れない」と、霊園関係者や石材業者の方々から、話を聞くことがあります。これは、最近に始まった話ではありませんが、墓地を必要とする方（墓地を購入する側）の金銭的事情や、墓地以外の納骨先（納骨堂、永代供養墓、樹木葬など）といった形態の多様化によるところが大きいと思います。また境内墓地に納骨する（檀家になる）ことに抵抗がある方もいるようです。

お寺の檀家になることを「信仰のきっかけ」という意味で考えますと、二〇一七年六月に公益財団法人全日本仏教会、及び大和証券株式会社が共同でインターネット調査会社を通じて調査をおこない、その結果をまとめて発表致しました「仏教に関する実態把握調査報告書（二〇一七年度）」に、関連するデータが出ておりましたので、ご紹介したいと思います。その報告書によりますと、宗教（寺院）を信仰するきっかけは、家の宗教が仏教（寺院）だから（四九・一％）、身内の死（葬儀）によって（五一・一％）という結果でした。「家」がたまたまその宗派（寺院）だったから信仰している、「人の死に関わる時にしか信

仰のきっかけを見いだせない」といった現代の仏教（寺院）に対する価値観が結果に反映されているように思います。お檀家であつても、なぜ菩提寺がその寺院なのか？を認識していない方が半分近くいるのであれば、菩提寺を持たない方も含めて「これから新しく檀家になつて境内墓地を持ちたいと思う方々」は、そんなに多くないのかもしれないかもしれません。（出典 全日本仏教会、大和証券）

都内では、そういった需要も踏まえて、境内墓地の一角を「宗派問わずの霊園形式」として売り出す提案をされる石材業者があります。まだまだ抵抗のあるご寺院のほうが多いですが、少しずつ増えてきており、境内墓地を販売し、新しいお檀家を増やすことの大変さが理解できます。ちなみに墓所を購入された方の一割程度は、後々檀家になると言われており（石材業者の話）、そこを期待されるご寺院もいらっしゃるそうです。しかし、宗旨宗派を替える方が一割程度いるということは、その逆もあり得るということになります。生前、葬儀や納骨先について、家族と情報共有出来ている方や、遺言に残している方は兎も角、身近な身内が居ない方は、ご自身が亡くなった後、どの様な葬儀を執り行い、どこに納骨されるのか不安で気が気でないと思います。

そんな時、葬儀の方法や納骨先を事前に行政に登録出来たらいいと思いませんか？

「お墓の住民票」

平成三〇年四月一七日に横須賀市が全国で初めて「わたしの終活登録」といった新しい行政サービスを発表しました。近年、ご本人が倒れた場合や亡くなった場合に、せっかく書いておいた終活ノートの保管場所や、お墓の所在地が分からず、故人の生前の意思とは関係ない形で葬儀や納骨をされてしまうケースが増えており、結果として遺骨の引き取り拒否などによって、市役所で管理せざるおえない遺骨が、年間五〇件前後あるそうです。そのような事態を防ぎ、安心して暮らしていただくために始まるこのサービスは、「お墓の住民票」とも言えます。

登録できる事項は、かかりつけの医師やアレルギー、臓器提供意思、遺品の整理方法、遺言書の有無、緊急連絡先、お墓の所在地、本人の自由登録事項などがあります。登録をしますと、万が一の際、病院・消防・警察・福祉事務所や、本人が指定した方に情報を開示し、本人の意思の実現を支援してくれるそうです。

まだ横須賀市だけの取り組みですが、このサービスが普及すれば、寺院にとつても明るい兆しになるのではないかと思います。

梅雨の対策 知って得する

日本に住んでいる限り、避けて通れないのが「梅雨」です。梅雨は北海道と小笠原諸島を除く日本、朝鮮半島南部、中国の南部から長江流域にかけての沿岸部、及び台湾などの東アジアの広範囲においてみられる特有の気象現象になります。そして、じめじめ蒸し暑い梅雨どきは、冷えや偏頭痛、自律神経失調症、うつなどの心身の不調が起きやすくなり、こんな梅雨を少しでも快適に過ごすには工夫が必要です。

「蒸し暑さと梅雨寒の寒暖差に

身体がついていけない！」

梅雨前線の北側に入ると気温が下がって梅雨寒になり、前線の南側に入ると一気に蒸し暑くなり、春に次いで気温差が激しく体調を崩しやすくなります。特に梅雨寒の日は、リウマチや関節痛、ぜんそくの発作が増えるので要注意。こんな時は「気温変化五度 \parallel 洋服一枚」で乗り切りましょう。さっと羽織れる薄手のジャンパーやカーディガンなどを常に携帯すると重宝します。

「どんよりじめつと

暗い日が続くとうつ傾向に」

通常眠っている間は副交感神経が優

位で、朝明るくなって目覚めると交感神経が優位になるのですが、梅雨時は朝も雨雲がかかって暗い日が多いと切り替えがうまくいかなくなります。そして交感神経と副交感神経のバランスが悪くなって自律神経失調症になりやくなってしまうのです。まず朝起きたらカーテンを全開にして光を取り込み、曇りの日は部屋の電気をつけて「朝だよ」と体に認識させてください。

「梅雨時に大繁殖する

カビ・ダニ・食中毒菌」

梅雨時の高温多湿の環境は、カビ・ダニ・食中毒菌が繁殖するのにもつてこいんです。暖房も冷房もいらない快適な季節を経て、エアコンを再稼働することが多い梅雨どきには、エアコン内に繁殖したカビや雑菌が肺炎などを引き起こすこともあるそうです。このダニの死骸やフンなどのハウスダストによるアレルギーのひとつであるアトピー性皮膚炎も増えます。これらを予防するにはしばらく使っていないエアコン内を清掃し、さらに窓を開けて換気をよくしてエアコンを数時間点け放しにし、できるだけカビや雑菌を排出

させてから使うといいでしょう。またこの時期に多い食中毒の予防には、冷蔵庫内の清掃を行い、食材の詰め込み過ぎをやめ、包丁・まな板の熱湯消毒、生ものの加熱を徹底することでかなり防げます。

「快晴一時間 \parallel 曇天一時間

紫外線量は変わらない」

梅雨どきは曇っているからと、紫外線対策を怠る人がいますが、晴れた日に一時間外にいるのと、曇った日に二時間外にいるのでは、浴びる紫外線量は同じです。梅雨の晴れ間やカラ梅雨の際には真夏並みの紫外線を浴びることになり、将来、シミが増えたり、白内障になるリスクも高まります。曇りの日でもUVクリームを忘れずに塗り、梅雨の晴れ間でも帽子や日傘そしてサングラスなどで対策してください。

梅雨どきに注意する天気予報のポイントは「梅雨前線が自分の住む地域を通過する時」と「最高気温と最低気温の差が前日より大きい」の二点になります。毎日の天気予報をチェックし、健康に気をつけましょう。